

『数学教育学論究』誌の投稿規定及び執筆要領

I 投稿規定

- 1. 投稿資格** 投稿される研究論文、または学位論文紹介・要約等の著者（連名の場合は筆頭著者）は、日本数学教育学会の個人会員とする。ただし、投稿時に非会員でも、投稿と並行して本学会への入会手続きを行えば、投稿できるものとする。
- 2. 投稿論文** 投稿される研究論文は、算数・数学教育についての基礎的・科学的な研究であり、日本語または英語で書かれた独創性のある未発表のものに限る。
- 3. 論文の種別** 投稿論文は、研究論文、数学教育に関する博士論文紹介、数学教育の修士論文要約の3種とする。
- 4. 論文の長さ**

研究論文 - 10~20 頁（1 頁 22 字×2 段×42 行）とする。本文、目次、図表、注、参考文献は頁数に含まれ、資料、要約は含まれない。

博士論文紹介 - 表紙は 1 頁、紹介本文は 10 頁（1 頁 22 字×2 段×42 行）以内とする。

修士論文要約 - 500 字以内とする。
- 5. 論文の作成** 投稿論文の作成については、II に定める「執筆要領」による。
- 6. 論文の投稿**

研究論文 - 学会ホームページよりログインし、投稿申請画面に必要事項を入力し、論文の PDF ファイル（著者名ありとなしの 2 種）をアップロードすること。著者名なしのファイルについては、PDF のプロパティや謝辞等からも著者が特定されないようにすること。

博士論文紹介 - 学会ホームページよりログインし、投稿申請画面に必要事項を入力し、論文紹介の PDF ファイルと WORD ファイル（著者名あり）をアップロードすること。

修士論文要約 - 学会ホームページよりログインし、投稿申請画面に必要事項を入力すること（詳細は下記の執筆要領を参照）。
- 7. 論文の審査等** 研究論文については、論究部が委嘱した 3 名以上の審査委員による審査を行い、その結果に基づいて採否等の決定を行う。そして、その結果は投稿者に通知される。
- 8. 修正稿の投稿期限** 一部修正や大幅な修正が必要と判定され、修正稿を投稿する場合の期限は、審査結果が著者に通知されてから半年とする。ただし、申請をすれば、期限を最長で審査結果が通知されてから 1 年まで延長することができる。
- 9. 修正対応表の作成** 修正稿を提出する場合は、修正意見と修正箇所の対応がわかるよう修正対応表（PDF、著者名なし）を作成し、資料としてアップロードすること。
- 10. 異議の申し立て** 投稿者は、投稿論文の査読結果について異議がある場合、学会事務局（論究部宛）に対して文書で申し出ることができる。その取り扱いは論究部で決定する。
- 11. 二重投稿の禁止** 投稿した研究論文を同時期に他学会誌等へ投稿することはできない。
- 12. 著作権の帰属** 掲載された論文の著作権は、別途定められた「著作権規定」に基づき、本学会に属

するものとする。

13. **別刷の希望** 研究論文の別刷の希望がある場合、投稿申請画面の連絡事項の欄に部数を書き添えること（ただし、別刷については実費を負担すること）。
14. **秋期研究大会「論文発表採択」論文** 秋期研究大会「論文発表採択」論文のその後の投稿については別に定める。

II 執筆要領

【研究論文】

1. **原稿の書式** 原稿は A4 サイズ縦置き横書きとすること。
2. **標題の形式** 論文の標題は、日本語と英語の両方を記すこと。日本語の標題は 40 字以内とし、副題がある場合、副題は 30 字以内とする。
3. **要約の作成** 日本語の論文には英語で、英語の論文には日本語で、要約を付すこと。
4. **目次の記載** 論文の標題の下に、論文の目次を記載すること。
5. **キーワードの作成** キーワードは 5 件以内、合計で 20 字以内とする。
6. **文体** 日本語の文体は「である」調とし、常用漢字ならびに現代かなづかいを用いること。
7. **見出し番号の付け方** 章、節、項などには、見出し番号と標題を付すこと。見出し番号は次の順とする。
章の見出し番号：I, II, …, 節の見出し番号：1, 2, …, 項の見出し番号：(1), (2), …
8. **表・図の番号** 表及び図には、表 1, 表 2, …, 図 1, 図 2, …のように通し番号をつけ、標題を付すこと。表の通し番号と標題は表の上側に、図の通し番号と標題は図の下側に付すこと。
9. **引用・参考文献の記載形式** 引用・参考文献は論文の末尾にまとめ、次の形式で示すこと。海外文献については APA スタイルに従うこと。

単行本（全体）：著者名（出版年）．書名．出版社．

例 能田伸彦（1979）．算数・数学科授業の設計と実際：評価を中心にした科学的方法．東洋館出版社．

単行本（分担執筆）：著者名（出版年）．章等の標題．編集者名，書名（pp. 始ページ-終ページ）．出版社．

例 杉山吉茂（2010）．数学教育本質論．日本数学教育学会編，数学教育学研究ハンドブック（pp. 18-23）．東洋館出版社．

学会誌や雑誌等：著者名（出版年）．論文名．学会誌名，巻（号），始ページ-終ページ．

例 日本数学教育学会教育課程委員会（2016）．学習指導要領算数・数学科改訂に向けた教育課程論の展開．日本数学教育学会誌数学教育，98(1)，11-44．

インターネット上の資料：著者名（出版年）．資料名．URL（最終確認日）

例 国立教育政策研究所（2016）．平成 28 年度全国学力・学習状況調査報告書【中学校数

学】. <https://www.nier.go.jp/16chousakekkahoukoku/report/data/16mmath.pdf> (2020.4.2 最終確認)

10. 引用・参考文献の記載順序 引用・参考文献の記載順序は、著者の姓の英文表記に基づいてアルファベット順とする。

11. 表・図等の扱い 表・図等は、原稿をそのまま写真製版するので、同寸同大で作成すること。

【博士論文紹介】

1. 表紙の作成 表紙に、氏名、所属、学位取得年月日、授与大学、論文題目（日本語と英語）、学位名称を記載すること。
2. 紹介の内容 研究の意図、目的、方法等を述べた上で、博士論文の章構成と各章の概要を示すこと。
3. 見出し番号の付け方 見出し番号は、1, 2, …, (1), (2), …とする。
4. 関連する著者の研究 博士論文に関連する著者の主要な研究を論文の末尾に示すこと。
5. その他 原稿の書式、文体、表・図の番号、引用・参考文献の記載形式と記載順序、表・図等の扱いは、研究論文の場合と同様である。

【修士論文要約】

論文題目、氏名、修了大学院名、修了年度、要約本文（500字以内）、キーワード（5件以内、計20字以内）を記載すること。要約本文については、研究目的、方法、結論を簡潔に記載すること。

問い合わせ 投稿等についての問い合わせは、下記の学会事務局（論究部）へ。

〒171-0031 東京都豊島区目白4-23-15

日本数学教育学会事務局（論究部）

TEL : 03-5988-9872 FAX : 03-5988-9873 e-mail : info@sme.or.jp

付則：この規定等は平成27年9月15日より施行する。

付則：この規定等は平成28年10月31日より施行する。（修論要約のweb提出に伴う改定）

付則：この規定等は平成29年1月17日より施行する。（修論要約のweb提出に伴う改定）

付則：この規定等は平成29年8月8日より施行する。（博士論文紹介のweb提出及び標題の字数制限に伴う改定）

付則：この規定等は令和2年10月12日より施行する。（秋期研究大会の運営変更に伴う改定）